

# 令和3年度山形県生活習慣病検診等管理指導協議会 子宮がん部会議事録

日時：令和4年2月22日（火） 15:30～  
場所：オンライン開催(zoom)

## 〈 次 第 〉

- 1 開会（進行：県がん対策・健康長寿日本一推進課 前田課長補佐）
- 2 あいさつ（県健康福祉部 阿彦医療統括監）
- 3 協議
  - (1) 令和2年度子宮がん検診の実施状況について
  - (2) 令和2年度がん検診事業クーポン利用状況及び不適性検体数調査結果について
  - (3) HPV併用検診の実施結果について
  - (4) 令和3年度がん検診精度管理調査結果について
  - (5) 回報書の変更案について
  - (6) その他

### 事務局説明 (1) 令和2年度子宮がん検診の実施状況について

### 事務局説明 (2) 令和2年度がん検診事業クーポン利用状況及び不適正検体数調査結果について

#### 永瀬議長

委員の皆さまからご意見ご質問等ありますか。

#### 中原委員

受診率の低下がみられるのは、令和2年度あたりはやはり新型コロナの影響と考えてよろしいのでしょうか。

#### 事務局

今回、住民検診の方が受診率の低下がみられましたが、ある市町村では新型コロナにより受診控えもあったと聞いています。ただ全国と比較すると、山形県では影響は少ないのではないかと思います。

#### 永瀬議長

庄内地区は、住民検診の受診率は県内の中で非常によいのですが、二次検診で他の地域より下がっているのは何か理由がありますか。

#### 安部委員

今年度については、精密検査の受診勧奨の通知と、受診についてどうとらえているかというアンケート調査を行っているのですが、落ち着いてから受診しますと回答している方がいます。感染対策を徹底しているので検診を受けてくださいと周知はしていますが、受診控えはあると感じています。

#### 永瀬部会長

確かに令和3年度はさらに影響が出てくるかもしれませんね。全国的にも検診控えがかなり問題になっていますけれども、検診は受けてもそのあとの精密検査を受けていないこともあるので、注意していただく必要があります。庄内地区の二次検診のコルポスコープと生検を行う施設は、日本海病院と庄内病院になりますか。

#### 事務局

開業医でも行っています。

#### 永瀬議長

わかりました。

### 阿彦医療統括監

P13、15の職域検診の庄内地区健康管理センターの要精検率について、令和元年度1.4で令和2年度0.7になっていることと、19ページの住民検診で庄内地区管轄の鶴岡市、三川町で過去3年の要精検率が下がっているのは、何か意識的に取り組みがあったのでしょうか。

### 庄内地区健康管理センター

検体の診断の外注化をはじめています。

### 永瀬議長

二次検診の勧奨などは今まで通りですか。

### 庄内地区健康管理センター

電話での勧奨が今はできていない現状で、それも原因かもしれません。

### 阿彦医療統括監

以前は内部で全ての細胞診の診断をやっていたものを外部委託に切り替えたことで、外部委託の割合が増えているということですか。

### 庄内地区健康管理センター

今年度からは100%外注し、令和2年度は個別検診のみ内部でやっていましたが、施設内のドックでは外注しています。

### 永瀬議長

外注先はきちんと精度管理ができていますか施設でしょうか。

### 庄内地区健康管理センター

臨床細胞学会の認定施設になっています。

### 永瀬議長

委託先がきちんと精度管理ができていようかが大事なところなので確認いただけるといいと思います。それから、不適正検体で、山形市内の検体が目立っている感じがしますが、山形市医師会健診センターは職域検診になるので、様々な病院から集まってくるのですよね。そうすると、この不適正検体というのは、コンベンショナル(従来法、CCT)ということでしょうか。

### 山形市医師会健診センター

当施設では、全てコンベンショナルで行っています。やはり細胞が取れていないものが多く、このような数値になっています。

### 渡邊委員

当院では、昨年度から液状化検体細胞診(LBC)をはじめまして乾燥など不適正になるものについて、感覚としては減ってきている感じがします。

### 永瀬議長

わかりました。次回は令和3年度になりますが、引き続き精密検査受診率の方も注意してみてください必要があります。

### **やまがた健康推進機構 高橋係長**

### **山形市医師会健診センター 殿岡主任より説明 (3) HPV 併用検診 実施結果について**

### 永瀬議長

令和元年度の再検受診率は75.5%で令和2年度は43.5%なのは、このご時世だからでしょうか。

山形市医師会健診センター

年度で集計していますので、令和3年度の1月～3月の結果は含んでいません。年度明けにはまだ増えることとなります。

永瀬議長

まだ集計時期だからということですね。例年これくらいですか。

山形市医師会健診センター

令和元年度は、平成30年度に比べて少し高くなっていますが、12月末だと40%前後でいたいこれくらいです。

永瀬議長

ありがとうございました。山形医師会健診センターで、令和元年度精密検査でSCC出ている方がいますね。これは細胞診の見直しは行いましたか。

山形市医師会健診センター

見直しました。1年後ということですが、実際の方が受けたのが、初回が2019年9月で、次は2021年6月に受けた方です。実際は1年半以上間隔があいています。

永瀬議長

細胞診結果は、NILM/HPV (+) に方ですからね。CIN1とかCIN2が多い印象でしたが。

中原委員

1年半あいたということで、この時は、勧奨などして受けてもらったのでしょうか。

山形市医師会健診センター

基本的には、1年後の受診勧奨は行っていますが、それ以降はやっていない現状です。

永瀬議長

経過が気になりますね。何か症状があって受診したのかもしれないし。この方の臨床情報はなにかわかりますか。

山形市医師会健診センター

臨床情報まではわかりません。

阿彦医療統括監

併用検診で、HPV (-) で細胞診も異常なかった方は、その後の検診の間隔はどうなりますか。ガイドラインだと5年間隔にのばせるのがメリットと言われていますが、実際には、次の検診についてどのような案内をしていますか。

やまがた健康推進機構

併用検診の受診間隔は2年に1度で、NILMでHPV (-) の方は、通常通り市町村の2年に1度の検診になっていると思います。

阿彦医療統括監

まだ試行段階なので、そのまま同じ扱いにされているという理解でよろしいですか。

やまがた健康推進機構

はい。当施設では、県の2年に1度の検診と同じ流れで併用検診を行っております。

永瀬議長

そのあたりのデータの管理が難しく、国がん、産婦人科医会、学会などから様々な意見が出ており、併用検診を進めるかどうかの議論になっていますので、今後動きをみていかなければならないですね。

金杉委員

再検受診率について、少し高くてもいいと思うのですが、把握しきれないなどの理由はありますか。

永瀬議長

やまがた健康推進機構では、最上地区が多く住民把握ができそうですがいかがですか。

やまがた健康推進機構

受診者の把握は可能ですが、積極的に受信勧奨はしていないで状況です。受診勧奨をすればもう少し上がると思います。受診勧奨についての取り決めがはっきりしておらず、市町村でやるのか検診機関でやるのかあいまいで、そのあたりの取り決めが必要だと思います。

永瀬議長

検診機関からしてもいいのかということですよ。現状は自治体任せになっていますよね。

やまがた健康推進機構

通常検診は自治体で受診勧奨しているので、再検査のみ検診機関からというのは混乱を招くかもしれません。

永瀬議長

難しいところですね。

#### **事務局説明 (4) 令和3年度がん検診精度管理調査結果について**

中原委員

市町村集団検診の間 1-2-1 で、×の市町村が多いですがなぜでしょうか。

事務局

未受診者全員というところが厳しいようです。

永瀬議長

○になっている市町村はどのような取り組みをしているかわかりますか。

事務局

特に聞き取りしておりません。

永瀬議長

ぜひ、どのようにやっているか聞き取りして、各市町村に共有していただきたいと思います。県全体においては、全般的に下がっているところはないのですばらしい結果だと思います。

#### **事務局説明 (5) 回報書の変更案について**

永瀬議長

スペース等の問題もありますが、皆さまの意見を伺いますと、検査項目と検査結果とを一緒にした方がいいかもしれませんね。

事務局

わかりました。レイアウトをもう少し工夫します。

酒井委員

検査項目のところは、チェックリストで把握するために追加になったのですか。山形市としてはこの

案でいいと思いますが、他の市町村からの意見も聞いた方がよいと思います。

#### 事務局

検査項目は把握が必要になったため追加しました。来年度あたりを目処に他の市町村の意見も聞く機会を設けたいと思います。

#### **(6) その他**

特になし。